

Weekly Report 2022-2023



会長：遠藤直樹 / 幹事：鈴木雅博 / 会長エレクト：磯崎裕祐 / 副幹事：吉岡哲哉 / S.A.A：吉本委子

今週のプログラム	第 2548 回	3 月 3 日
卓話：低田陽介会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2547 回	2 月 24 日
卓話：職業奉仕委員会 加藤会員		
担当者	職業奉仕委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

遠藤会長挨拶	鈴木幹事報告	卓話:職業奉仕委員会 加藤会員

遠藤会長挨拶

・ 皆さんこんにちは。今日は朝から新聞、TVで報道されているようにロシアによるウクライナ侵攻が始まってからちょうど1年です。現在までウクライナでは民間人合わせて2万人以上亡くなり、ロシアでも推定20万人以上が亡くなって想像以上に大規模で大変な事態となっております。またその影響により世界中で物価が高騰して我々の暮らしにも悪い影響が色々出ています。何も残らない無駄な戦争で一日も早く終結することを待っています。

それと話はかわりますが、6月1、2日の水戸南RCの50周年記念式典、前夜祭のことについてですが、旅券などの手配をお願いしております近藤会員よりコロナウイルス感染拡大も少し落ち着いてきて航空券などが取り難くなっているということなので、参加される会員の意向を早めにお聞きして数を取りまとめたいと思っております。前夜祭、エクスカーション、ゴルフ、式典それぞれの参加人数、また旅券手配の有無を記入する用紙を回覧いたしますので宜しくお願い致します。

鈴木幹事報告

- ・ ローターリーの友が来ております。

磯崎会長エレクトより

- ・ FSMのご案内

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

I T・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。
 題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構です。投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。

3月3日 今日は何の日	今日生まれの有名人名			
ひな祭り/金魚の日/耳の日/鶏の節句	1965年	ストイコビッチ	1951年	竹中平蔵
1603年 日本橋開通	1959年	マッハ文朱	1924年	村山富市
1860年 桜田門外の変	1953年	ジーコ	1847年	グラハム・ベル
誕生花	桃、花言葉は“恋のとりこ”			
誕生石	アメシスト(amethyst)、宝石言葉は“心の平和”			

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
 御国に捧げん我らの業
 望は世界の久遠の平和
 めぐる歯車いや輝きて
 永久に栄えよ 我等のロータリー

ニコニコBOX	
FSMのアンケートご協力ありがとうございました。	吉岡
遅刻・早退	5件
合計 6 件	
本日 の 合 計	5,500 円
2022-2023 年 度 累 計	616,500 円

出席報告		出席委員長：大西一正	
会 員 数 /	42 名	出席規準数 /	40 名
出席者数 /	20 名	欠 席 者 数 /	20 名
出席率 /	50.00%	ビ ジ タ ー /	0 名
最終出席率 /	2 月 10 日	50.00% →	65.00%

メイクアップ	
2月18日	2720 Japan O.K. ロータリーEクラブ 大島
2月21日	高松中央RC 藤田 泉谷
2月21日	丸亀東RC 岡田

3 月誕生日の樹	
7 日	低 田 陽 介 会 員 ジンチョウゲ(沈丁花)
10 日	遠 藤 直 樹 会 員 アケビ(木通)
記念樹	—記念日と誕生日365日の+1の樹— 財団法人経済調査会発行より

加藤会員より -3-

私の尊敬するロータリアンの一人塚原房樹PG(札幌東RC)のエッセイをお送りします。旧老タリアン(私も含めて)の今の心情を吐露しておられます。氏は高松南RCの太田英章PGと共に「千種会」で古くから研修を積まれてきた方です。現在は田中毅PGの主宰する「源流の会」副会長でもあります。

「人生の次元」であったロータリー(その2)

2510 地区 PDG 塚原 房樹
(札幌東)



慈善事業は宗教的または道徳的動機により、資本主義以前より古くから社会的に賞賛すべき善行として存在しています。しかし、それはあくまでも個人個人の善意によるもので、それぞれが分に応じて喜捨することによって成立っていました。ところが万人平等の自由競争、市場経済が想像を絶する様な巨大なものになり、それが国際的な格差にまでなってくると、通常の市民による個人的善意などでは手が及ばなくなってしまいます。そこに生まれたのが「他人の金を集めて善行をする」というフィクション(虚構)です。

然もこのフィクションは公的国家的なものよりも、民間組織であっても一見、建前はまことに立派であって申し分ない……だから虚構というのですが、RIも非営利組織となり構成員の金を集めて奉仕する奉仕請負業となりました。つまりロータリアンは自分自身の寄付を、ロータリー財団にアウトソーシング(外部委託)して奉仕の代行をしてもらうようになったのです。いいことをしたいと思う人々の善意に訴え、他人の金を集めて奉仕して、そこから経費と多額の人件費を手にする非営利組織となったRIの虚構に接して、私の大切な「人生の次元」であった「無私の奉仕」を唱える、かつてのロータリーはもはやなくなってしまいました。人を作るための自己啓発を目的とする思想団体から、寄付金目当ての慈善団体に変わってしまったロータリーと旧老タリアンはどう向き合うべきなのでしょう。

それに比べ、最近の若いロータリアンは、現在のロータリーを非営利組織の慈善団体として抵抗なく受け入れています。

老タリアンの私は、マッカーサーの「老兵は死なずただ消えるのみ」の心境となってしまいました。しかしまだロータリーの会員を続けているのは、ロータリーで結ばれた大切な友人達がいるからです。

昔のロータリーはよかった、原点に戻ろうという声をよく耳にします。しかし、原点回帰は問題解決のための一つの考え方ですが、掛け声ばかりでは現実社会でのリセットは簡単にはありえません。原点回帰を目指したところで、官僚支配によるRI理事会が深謀遠慮、ここまで今日の姿を見通して周到綿密な計画を立て、積み上げられてきたものは絶対になくならないでしょう。しかし、思考を原点に戻すことで、人は当初に抱いていた理想を思い出すことはできます。復古主義、保守主義のいずれにしる、問題はRIの理事会自体が原点回帰の重要性を認識して、事務官僚たちの権限を統制コントロールできるかどうかにかかっています。

そのために、われわれ日本のロータリアンは、何ができるのでしょうか？何をなすべきなのでしょう？

(2022.11.28)

ロータリー特別月間	
水と衛生月間 (Water and Sanitation Month)	
2014年10月RI理事会は、3月を重点分野:「水と衛生月間」とした。地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。	

次週のプログラム		第 2549 回	3 月 10 日
客話「中野武営について」中野武営頭正会事務局長、元四国新聞記者 山下淳二様			
担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松